



図書館だより

No.38

令和元年10月号

【4・7・10・1月発行】

発行：入間市立図書館

本館 04-2964-2415

西武 04-2932-2411

金子 04-2936-1811

藤沢 04-2966-8080

図書館へのご挨拶 <https://lib.city.iruma.saitama.jp/>



お昼には、 FMチャッピーを聴こう！



FMチャッピー

周波数 77.7MHz

番組名

くらしい〜♪

「本のある生活」

放送日時

毎週木曜日

12:40~12:50頃

FMチャッピーは、入間市、所沢市、狭山市、飯能市、日高市、東京都瑞穂町周辺の情報を発信している、ラジオのコミュニティ放送です。

図書館では、このFMチャッピーの番組「くらしい〜♪」の中の「本のある生活」で、毎週、本の紹介や図書館のイベント情報をお知らせしています。担当するのは、各館の職員たち。毎回、どんな本を紹介しようか、頭を悩ませながらも楽しく収録しています。

木曜日のお昼には、聴き覚えのある声流れるかもしれません！ぜひ、聴いてくださいね。スマホやパソコンでも聴けます。

西武分館Nさんが紹介した本

「もう飛行機はこわくない

飛行機嫌いを克服する本」

ミーヴ・バーン・クラングル著 栗木さつき訳
主婦の友社<<687.5/ク>>

飛行機恐怖症の人やそうでない人も、不安を解消するメンタルトレーニング法が学べる本です。

(2019/05/02 放送)

本館Sさんが紹介した本
「まるまるまるのほん」

エルヴェ・テュレ著 谷川俊太郎訳 ポプラ社
《ほ3》

子どもが自分自身の手で、ストーリーを先へ先へと進めていく参加型絵本。「まる」を押ししたり、なでたり、クリックしたり・・・

親子で楽しみましょう！

(2019/05/16 放送)

パーソナリティ森尾さんの
鋭い質問に、ドキドキ・・・



おかえり、
菜の場所で待ってるよ
2019・第73回 読書週間
10/27~11/9



10月27日(日)~11月9日(土)は、「読書週間」です。

～読書週間～ 読書を推進する行事が集中して行われる期間で、戦後間もない1947年、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」との思いから開催されたのが始まりです。(主催：読書推進運動協議会)

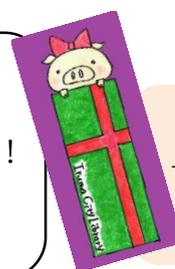
チャレンジ！読書ラリー ★★読書ビンゴ★★

図書館が指定するジャンルの本を読んで、ビンゴカードのマスを埋めましょう！達成したビンゴ数に応じて、すてきな記念品を差し上げます。

ビンゴカードは、各図書館で配布します。みんなで、チャレンジしよう！

とき：10月26日(土)～令和2年1月13日(月・祝)

ところ：図書館本館、西武分館、金子分館、藤沢分館 対象：小学生



とんちゃんしおりなど、すてきな記念品を用意しています。お楽しみに！

裏面もごらんください



本館「ブックツリーを育てよう！」

本を読んだ感想を“読書のはっぱ”に書いて、図書館内にある「ブックツリー」に貼っていきます。どんどん葉っぱを増やして「ブックツリー」を完成させましょう！

お寄せくださった方には、本館オリジナルのグリーティングカードをプレゼントします。

とき：10月2日（水）～12月1日（日）

対象：子ども



本館「図書館まつり」～入間万燈まつり～

①リサイクルフェア

図書館で除籍した本など、不要となった図書を無料で配布します。

とき：10月26日（土）13:30～16:45

10月27日（日）9:30～16:00

ところ：本館入口付近テント

②おはなし会スペシャル

絵本などの読み聞かせのほか、バルーンアートの実演・プレゼント。

とき：10月26日（土）14:00～

10月27日（日）11:00～/14:00～



本館「いるま生涯学習フェスティバル

リサイクルフェア」

図書館で除籍した本など、不要となった図書を無料で配布します。

とき：12月1日（日）10:30～15:15

ところ：入間市市民会館入口付近



本館「冬のおたのしみ会」

とき：12月14日（土）14:00～15:00

ところ：産業文化センターA棟1階第1集会室（和室）

対象：幼児から小学生と保護者

内容：創作人形劇「だれからのおてがみ?!」、パネルシアターなど

定員：80名（先着順）

協力：読み聞かせボランティアグループ「どんぐり」



西武分館「ウィークエンド・シネマ」

とき・内容

☆10月5日（土）・日の果て（1954年、108分）

☆10月19日（土）・欲望という名の電車（1951年、122分）

☆11月2日（土）・グレン・ミラー物語（1953年、115分）

☆11月16日（土）・雨の朝 巴里に死す（1954年、115分）

☆12月7日（土）・実録忠臣蔵（1928年、65分）

☆12月21日（土）・クリスマス・キャロル（1938年、69分）

※時間はいずれも14:00から

対象：一般

定員：120名（先着順）

駐車場が狭いため、車でのご来館はご遠慮ください。



西武「ハロウィンおたのしみ工作会」

とき：10月20日（日）10:00～12:00

対象：幼児から小学生まで（保護者同伴可）

内容：映画の上映と、簡単なハロウィングッズの工作

定員：30名（先着順）

申込：10月6日（日）から西武分館（電話可）



西武分館「おとなのための朗読会」

とき：11月23日（土・祝）13:30～15:15

対象：一般

内容：朗読の会「小窓の会」による朗読

定員：100名（先着順）



西武分館「冬のおたのしみ会」

とき：12月14日（土）14:00～15:30

ところ：西武分館2階 視聴覚室および会議室

対象：幼児から小学生と保護者

内容：大型絵本の読み聞かせや人形劇、紙芝居などの上演と、ミニ工作会



西武分館「冬の子どもえいが会」

とき：12月15日（日）10:30～11:00

対象：幼児から小学生と保護者

内容：アニメ「ミッキーマウスのメリークリスマス」

定員：120名（先着順）



西武分館「武蔵野音楽大学 大学院生によるクリスマスコンサート」

とき：12月22日（日）14:00～15:00

対象：一般

内容：クリスマスソング等の演奏会

定員：100名（先着順）

申込：12月8日（日）9:00から西武分館（電話可）



金子分館「ブックツリーをそだてよう！」

とき：10月2日（水）～12月1日（日）

対象：児童・一般

内容：図書館の本を読んで心に残ったワンフレーズを「読書の葉っぱ」（葉の形をした記入用紙）に記入し、館内のパネルに描いた木の枝に貼り、ブックツリー（読書の木）を育てます。



金子分館「初めてでもわかりやすい古典文学～源氏物語の名場面を読む～」

とき：10月19日（土）14:00～15:30

ところ：金子公民館

対象：一般

内容：時代を超えて読み継がれてきた名作「源氏物語」の奥深さに触れる初心者対象講座です。

講師：秋草学園短期大学教授 及川道之氏

定員：40名（先着順）

申込：10月5日（土）9:00から金子分館（電話可）



金子分館

「金子地区文化祭おはなし会スペシャル」

とき：11月2日(土) 11:00~12:00
 対象：幼児から小学生と保護者
 内容：読み聞かせボランティアグループ「茶の花」による絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊び、木の実を使った簡単な工作など
 定員：30名(先着順)



藤沢分館「古典朗読会古典にふれてみよう」

サークル「古典の会」による朗読会です。
 声に出して一緒に古典の響きを楽しみませんか？
 とき：10月13日(日)・11月10日(日)
 12月8日(日)
 各回 14:00~15:00
 対象：一般 定員：各回10名程度
 内容：「今昔物語」「太閤記」など(予定)
 ※変更する場合があります



金子分館「冬のおたのしみ会」

とき：12月1日(日) 14:00~15:00
 ところ：金子公民館
 対象：幼児から小学生と保護者
 内容：読み聞かせボランティアグループ「茶の花」による絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊び、パネルシアターなど
 定員：60名(先着順)



藤沢分館「青空おはなし会」

とき：11月3日(日) 11:00~11:20
 13:00~13:20
 ところ：ふじのみや公園(藤沢公民館隣接)内、藤沢文化祭会場
 対象：幼児から小学生と保護者、藤沢文化祭来場者
 内容：大型絵本の読み聞かせや、紙芝居などを、藤沢公民館文化祭に合わせて屋外で実施するおはなし会です。
 *悪天候等により中止または館内でのおはなし会に変更する場合があります。



金子分館

「金子ふれあい村おはなし会スペシャル」

とき：12月7日(土) 11:00~11:30
 対象：幼児から小学生と保護者
 内容：読み聞かせボランティアグループ「茶の花」による絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊びなど
 定員：30名(先着順)



藤沢分館「一日図書館員体験教室」

とき：11月10日(日)
 ①11:00~12:30 ②14:30~16:00
 対象：小学1年生~小学6年生
 内容：図書館内の見学と、カウンターでの貸出・返却等のお仕事体験です。
 定員：各回5名(先着順)
 申込：10月12日(土)9:00から藤沢分館(電話不可)



金子分館「押し花・押し野菜で

カレンダーを作ろう！」

とき：12月15日(日) 14:00~16:00
 ところ：金子公民館 対象：中学生以上
 定員：15名(先着順)
 申込：12月7日(土)9:00から金子分館(電話可)



藤沢「冬のおたのしみ会」

とき：12月21日(土) 14:00~15:30
 ところ：藤沢公民館
 対象：幼児から小学生と保護者
 内容：大型絵本、ブラックパネルシアター、手遊び、音楽演奏等。サンタクロースからのプレゼントもあります。
 定員：80名(先着順)
 協力：読み聞かせボランティアグループ「トトロ」他



藤沢分館「秋の子どもえいが会」

とき：10月12日(土) 11:00~12:30
 ところ：藤沢公民館
 対象：幼児から小学生と保護者
 内容：アニメ「ぞくぞく村のおバケたち」
 上映後には電動式観覧席の移動を見学できます。仮装をしてのご来場もどうぞ。撮影用ブースがあります。
 定員：190名(先着順)

読み聞かせボランティアグループの広場

どんぐり 「冬のおたのしみ会」での新しい出し物の製作も進行中!! 今年、産業文化センター和室での開催となります。たくさんの方々のお越しを待っています。

かざぐるま 夏の「ちょっとこわ〜いおはなし会」が終わり、「冬のおたのしみ会」に向けて準備中です。今まで以上に楽しさをお届けできるように、皆で頑張っています。お楽しみに。

おはなし円 毎月第1土曜日に、西武分館でおはなし会をしています。ほかにも、保育所や小学校へ出かけている会員もいます。子どもたちのキラキラした目を見ると「またやろう!」と思えます。

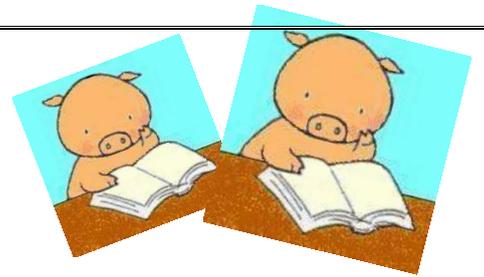
茶の花 冬のおたのしみ会に向けて、練習の始まりです。11月2日(土)は、11時から「おはなし会スペシャル」です。(金子地区文化祭参加)お楽しみに!

トトロ 小学生の皆さん、夏の「こわいおはなし会」はいかがでしたか?冬に向けては、新作のパネルシアターを製作中。今年の管弦楽生演奏も待ち遠しい!

図書館で活動している、読み聞かせボランティアグループのどんぐり(本館)・かざぐるま(西武分館)・おはなし円(西武分館)・茶の花(金子分館)・トトロ(藤沢分館)です。各グループより、最新情報をお届けします。



大人のためのBookガイド



「学校に行きたくない君へ 大先輩たちが語る生き方のヒント。」

全国不登校新聞社／編 ポプラ社 <371.42/ガ>

NPO 法人全国不登校新聞社の代表理事を務める奥地氏は、1984年に、「登校拒否を考える親の会」を発足し、フリースクールを開設。のちに、不登校の情報・交流誌として、日本で初めて1998年に「不登校新聞」を創刊しました。当事者参加型の新聞の内容は、体験談や進路情報、不登校やひきこもりの当事者・経験者である子ども自身が著名人の方々にインタビューをした記事などを掲載しています。これまでの中から選びとった、樹木希林やリリー・フランキー、辻村深月や羽生善治などの二十名の方々のインタビュー記事や不登校経験者の体験談が、今悩んでいる方達の後押しになってくれることを願います。

「へんな西洋絵画」

山田五郎／著 講談社 <723/ヤ>

西洋絵画、特に宗教画を見て感じたことはないでしょうか？この絵、何だかおかしくないかと。不気味な笑みを浮かべる子ども、無視された遠近法。なぜ、あえて可愛くない子どもを描くのか。遠近法を無視するのか。そこには深い理由があるようで…。変だけれど面白い、西洋絵画の世界に触れてみませんか？

「最新型 世界一よく飛び 折り紙ヒコーキ」

戸田拓夫／著 二見書房 <754.9/ト>

紙飛行機滞空時間のギネス記録保持者である著者が考案した22種もの紙ヒコーキは、シンプルなものから複雑なものまで様々で、中には立体的な機体もあります。飛び方も直線的なものだけではなく、上空からくるくと旋回しながらゆっくり降りてくるもの等、公園や体育館で飛ばしたくなるものばかりです。こっそり折り方をマスターして、お子さんやお孫さんに大人の見せつけるもよし。一緒に折って飛ばして遊ぶもよし。はたまた一人で童心に帰って思う存分飛ばすもよし。空気抵抗を計算して真剣に飛び紙ヒコーキを考えるもよし。あなたに合った楽しみ方で、この本を堪能していただければと思います。



子ども向けBookガイド



ねん かつ かつ いるましつとしゃかん はい こ ほん しょうかい

2019年7月から9月までに入間市立図書館に入った子どもの本を紹介しします！

「まほうつかいとねこ」 せなけいこ／作・絵 鈴木出版 <E/す3>

まほうつかいが、くろねこのぼしゅうこうこくを出しました。ところがゆきのふるばんにやってきたのは、ちいさなしろねこ。でもまほうつかいのあつまりに行くためには、くろねこをつれていかななくてはならないのです。そこでふたりはいいことを思いつきました。くろいセーターをきて、ほうきにのって、いざしゅっぱつです。1995年刊のとってもかわいいお話が、装いも新たに再登場しました。

「タヌキのきょうしつ」 やましたはるお ぶん はせがわよしゆみ え あかね書房 <やまし>

ひろしま県のある学校の木のねもとに、タヌキ一家がすんでいました。お父さんは、「これからの世の中は、タヌキの子にもきょういくというのがひつようらしい」と考えます。一年生のきょうしつにもぐりこんだお父さんは、ひるまならったことを、よるのきょうしつで子どもたちにおしえるようになりました。ところがだんだんうわさになり人々がおしかけるようになったため、よるのきょうしつをしめることになりました。でもタヌキたちはほらあなにもって、まじめにべんきょうをつづけたのです。それから五年、十年がたち、まちにへいたいがたくさんくるようになりました。せんそうがはじまったのです。

「名もなき花たちと ~戦争混血孤児の家「エリザベス・サンダース・ホーム」~」

こてまり ちよ はらしよぼう 原書房 <369>

今から約70年前、大きな戦争が終わった後に、親が死んでしまったり行方不明になってしまったりした「戦争孤児」がいました。またアメリカ人の父親と日本人の母親の間に生まれ、なおかつ捨てられた「混血孤児」もいました。そんな子供たちを引き取り大切に育てた澤田美喜という女性と、エリザベス・サンダース・ホームという施設を描いています。当時の有名なお金持ちの岩崎家の娘として育てた美喜が、持ち前の強さと行動力でたくさんの尊い命を救った、本当のお話です。